

第6学年 外国語科学習指導案

日 時 令和5年 月 日 () 校時
指導者 HRT
JTE
ALT
場 所

1 単元名 Welcome to Japan. ～ニュージーランドの小学生に日本のことを紹介しよう～
(参照：Junior Sunshine 6)

2 単元について

○児童観

本学級では、HRTやALTと積極的に関わり、学習した表現を使って授業中や休み時間にALTに進んで話しかけるなど、外国語の学習に意欲的に取り組む児童が多い。「Lesson3 “Where do you want to go? ツアープランナーになろうー」では、おすすめの国とその理由について、ペアで協力しながら積極的に伝え、相手に伝わりにくい時には、もう一度言ったり、説明を加えたりする児童の姿が見られた。また、相手の話をしっかり聞き、相手の話に反応する姿も見られるようになってきた。

しかし、自分の発話に自信がもてなかつたり伝えたいことが言葉にできなかつたりするため、活動に消極的な児童もいる。そのため、音声を繰り返し聞かせ慣れ親しむ活動を取り入れたり、HRTやALT、学級の友達など、他者と一緒に伝えたりすることで、達成感を積み重ねられるようにしてきた。少しずつ自信をもてるようになった児童は、自ら積極的に話しかけたり、質問されたことに答えようとしたりする姿が見られるようになってきている。

○教材観

日本には、日本の風土に合わせて独自に発展してきた文化や歴史があり、これらは長年受け継がれてきたものである。社会科や総合的な学習の時間と関連を図りながら、季節や季節に応じた行事、食文化や名所などを取り上げることで、児童は世界に誇る日本のよさに気付くことができる。また、ニュージーランドの小学生との交流を通して、ニュージーランドとの共通点や相違点に気付かせるとともに、英語を使う必然性のある場面設定を行うことで、相手を意識した話し方の工夫や活動への意欲の向上につなげることができると思われる。

○指導観

単元終末の言語活動として、ニュージーランドの小学生に日本文化を伝える場面を設定する。ニュージーランドの小学生に日本のことをよりよく知ってもらうためには、相手に興味をもってもらえるようなものは何かを考えたり、相手が分かるように説明を加えたりする必要がある。児童が相手意識・目的意識をもって主体的に活動に取り組むことができるよう、単元の導入時では、ニュージーランドから送られてきたビデオを視聴する。話している内容や態度に着目できるようにし、「日本のことを伝えたい」という思いや活動への動機付けを高めていく。また、3 Hint QuizやSmall Talkを定期的に設定することで、既習表現の定着を図り、児童の達成感や自信の高まりにつなげていく。第4時では、伝えたい日本文化について、これまで使ってきた表現を用いて例を参考にして書く活動を行う。第6時では、友達やALTの先生からのアドバイスを聞いて、自分のことや詳しい情報を付け加えるなど、より相手に伝わるような発表内容へと修正することができるようにする。単元終了後には、オンラインでニュージーランドの小学生に互いに文化を紹介したり質問したりして交流を図る。

児童の課題を踏まえ、表現に十分に慣れ親しみ、自分の考えや気持ちが相手に伝わる経験を積み重ねていくことで、コミュニケーションを図る楽しさを実感できるようにしたい。また、相手意識をもって、相手の立場や状況に応じて表現を工夫する力を身に付けさせたい。

3 単元の目標

ニュージーランドの小学生によりよく知ってもらうために、日本の行事や食べ物など、紹介したい日本文化について、伝えようとする内容を整理した上で、相手に伝わるように工夫して話すことができる。また、紹介したい日本文化について、音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現を用いて書くことができる。

※本単元における「聞くこと」については、目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。

4 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと 「発表」	〈知識〉 日本の行事や食べ物など、日本文化に関する語句、We have~. It's ~. You can enjoy~. の表現について理解している。 〈技能〉 日本の行事や食べ物など、紹介したい日本文化について、日本の行事や食べ物などに関する語句、We have~. It's~. You can enjoy~. などを用いて話す技能を身に付けている。	ニュージーランドの小学生に日本のことをよりよく知ってもらうために、日本の行事や食べ物など、紹介したい日本文化について話している	ニュージーランドの小学生に日本のことをよりよく知ってもらうために、日本の行事や食べ物など、紹介したい日本文化について話そうとしている。
書くこと	〈知識〉 日本の行事や食べ物など、日本文化に関する語句、We have~. It's ~. You can enjoy~. の表現について理解している。 〈技能〉 日本の行事や食べ物など、紹介したい日本文化について、日本の行事や食べ物などに関する語句、We have~. It's~. You can enjoy~. を用いて書く技能を身に付けている	ニュージーランドの小学生に日本のことをよりよく知ってもらうために、日本の行事や食べ物など、紹介したい日本文化について書いている	複数単元にまたがって評価を行うため、次の単元で記録に残す評価を行うこととする。

5 単元の指導と評価の計画（6時間）

時	目標（◆）と主な活動（○）	評 価		
		知 技	思 判 表 判 断 表 現	態 度 態 度
1	◆行事の言い方を知り、それぞれの行事でどのようなことが楽しめるかなどについて、聞いたり言ったりすることができる。			◎評価規準（評価方法） ※指導・学習改善のための評価（方法）
	○Small Talk（先生が好きな日本文化とその理由について） ○Let's Play ・ 3 Hint Quiz p18-19（先生から） ・ Pointing game ・ Key-Sentence Game p18-19 ・ 3 Hint Quiz（絵カードなど） 児童ペアでクイズを行う。 ○本単元のゴールをつかむ。 本単元のゴールである「日本に興味をもっているニュージーランドの小学生に日本のことをよく知ってもらうために、日本文化を伝える」という			本時では、記録に残す評価を行わないが、目標に向けて指導を行う。

	<p>目的意識をもち、見通しをもって活動できるようにする。</p> <p>○Reflection</p>			
2	<p>◆日本の行事や名所などについて、まとまりのある話を聞いて、その概要を捉えたり行われる季節とそれがどのような季節かについて言ったりすることができる。</p> <p>○Small Talk (ALTの国の行事と楽しむことについて)</p> <p>○Let's Talk (好きな行事などについて)</p> <p>○Let's Watch and Think ニュージーランドから届いたメッセージ動画を視聴し、話している内容、日本との共通点や違いなど、気付いたことを共有する。</p> <p>○Let's Play ・ 3 Hint Quiz (絵カード) 教師から児童にクイズを行った後、児童ペアでクイズを行う。</p> <p>○Let's Chant</p> <p>○Reflection</p>			<p>本時では、記録に残す評価を行わないが、目標に向けて指導を行う。</p>
3	<p>◆ニュージーランドの小学生に日本のことをよりよく知ってもらうために、食べ物とその味覚などについて、まとまりのある話を聞いて、その概要を捉えたり、伝えたりすることができる。</p> <p>○Small Talk (好きな和食について)</p> <p>○Let's Chant</p> <p>○Let's Watch and Think ニュージーランドから届いたメッセージ動画を視聴し、話している内容や気付いたことなどを共有する。</p> <p>○Let's Play ・ 心を一つにGame ・ 3 Hint Quiz (絵カード)</p> <p>○Let's Talk (好きな日本の行事や名所について)</p> <p>○Reflection</p>			<p>本時では、記録に残す評価を行わないが、目標に向けて指導を行う。</p>
4	<p>◆日本の行事や食べ物など、紹介したい日本文化について、音声に十分に慣れ親しんだ語句や表現を用いて書くことができる。</p> <p>○ Let's Watch and Think ニュージーランドから届いたメッセージ動画を観て、話している内容や気付いたことなどを共有する。</p> <p>○Let's Play ・ 3 Hint Quiz</p> <p>○Let's Write 紹介したい日本文化について例を参考にして書く。</p> <p>○Reflection</p>	書	書	<p>◎日本文化について、日本の行事や食べ物などに関する語句、We have~. It's~. You can enjoy~. などを用いて書いている。行動観察・ワークシート・振り返りカード点検)</p> <p>◎ニュージーランドの小学生に日本のことをよりよく知ってもらうために、日本の行事や食べ物など、紹介したい日本文化について書いている。</p>
5	<p>◆ニュージーランドの小学生に日本のことをよりよく知ってもらうために、日本の行事や食べ物など、紹介したい日本文化について伝えることができる。</p> <p>○Let's Play ・ 都道府県クイズ</p> <p>○ Let's Watch and Think ニュージーランドから届いたメッセージ動画を視聴し、話している内容や気付いたことなどを共有する。</p>	発	発	<p>◎日本の行事や食べ物など、紹介したい日本文化について、日本の行事や食べ物などに関する語句、We have~. It's~. You can enjoy~. などを用いて話し</p>

	<p>○Let's Write 紹介したい日本文化について、グループで考えを出し合い、発表内容をまとめる。</p> <p>○日本文化について紹介する練習をする。</p> <p>○Reflection</p>				<p>ている。</p> <p>◎ニュージーランドの小学生に、日本のことをよりよく知ってもらうために、日本の行事や食べ物など、紹介したい日本文化について、これまでに習った語句や表現を用いて話している。 (行動観察・振り返りシート点検)</p>
6 (本時)	<p>◆ニュージーランドの小学生に日本のことをよりよく知ってもらうために、日本の行事や食べ物など、紹介したい日本文化について、他者のアドバイスを聞き、工夫して話すことができる。</p> <p>○日本文化について紹介する。</p> <p>○相手や目的を意識した発表内容にするためには、どのような点を改善すればよいか伝え合う。</p> <p>○友達やALTのアドバイスをもとに、発表内容を修正する。</p> <p>○修正した内容をもとに日本文化を紹介する。</p> <p>○Reflection</p>		発	発	<p>◎ニュージーランドの小学生に、日本のことをよりよく知ってもらうために、日本の行事や食べ物など、紹介したい日本文化について、これまでに習った語句や表現を用いて話している。(行動観察・振り返りシート点検)</p> <p>◎ニュージーランドの小学生に日本のことをよりよく知ってもらうために、日本の行事や食べ物など、紹介したい日本文化について話そうとしている。 (行動観察・振り返りシート点検)</p>

※ 単元終了後に、オンラインでニュージーランドと交流し、日本文化を紹介する。

6 「CAN-DOリスト」の形での学習到達目標（第6学年）

聞くこと	読むこと	話すこと [やり取り]	話すこと [発表]	書くこと
ゆっくりはっきりと話されれば、一日の生活や行きたい国などについて、簡単な語句や基本的な表現を聞き取ることができる。	活字体で書かれた文字を識別し、その読み方を発音することができる。	基本的な表現を用いて挨拶や自己紹介をしたり、未来の自分などについて紹介したり、指示、依頼をしたり、それらに応じたりすることができる。	夏休みにしたいことなどについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる。	大文字、小文字を活字体で書くことができるようにする。また、語順を意識しながら音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができる。
ゆっくりはっきりと話されれば、日本のことや世界で活躍する人、好きなスポーツなどについて、具体的な情報を聞き取ることができる。	夏休みの思い出や、思い出の行事について書かれた文を見て、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現から推測しながら読むことができる。	自分の行きたい国や将来の夢などについて、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができる。	夏休みの思い出や自分の好きなスポーツ、選手などについて、伝えようとする内容を整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる。	自分のことや身近で簡単な事柄について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができる。

ゆっくりはっきりと話されれば、世界の衣食住や中学校生活などについて、短い話の概要を捉えることができる。	友達や先生方と、自分の好きなスポーツや選手、中学校でしたいことなどについて簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問をしたり質問に答えたりして、伝え合うことができる。	日本のことや、思い出に残っている学校行事などについて、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる。
---	--	--

7 本時の活動（第6時）

(1) 目標

ニュージーランドの小学生に日本のことをよりよく知ってもらうために、他者のアドバイスを聞き工夫して話すことができるようにする。

(2) 展開

時間	児童の活動	指導者の活動		指導上の留意点 ◎評価規準（評価方法）
		HRT	ALT	
1分	・挨拶をする。	・全体に挨拶をする。		・英語で挨拶をし、楽しい授業の雰囲気をつくる。
4分	・指導者が示す例を聞く。	・ALTに日本文化を紹介する。	・反応を示しながらHRTの紹介を聞く。	・HRTが例を示すことで、発表内容に着目できるようにする。
3分	・本時のめあてをつかむ。	・本時のめあてを確認する。		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> ニュージーランドの小学生に日本のことをよりよく知ってもらえるように発表内容を工夫しよう </div>				
11分	<ul style="list-style-type: none"> ・日本文化を紹介する。 ・友達の発表を聞き、良かった点やアドバイスを伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・語句や表現、音声などについて、個別に支援を行う。 ・発表内容について、良かった点やアドバイスを伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援を要する児童には、一緒に確認をすることで、安心して活動に取り組むことができるようにする。 ・友達の発表を聞く観点を示すことで、相手や目的を意識できるようにする。 	
20分	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレットを活用し、友達やALTのアドバイスをもとに、発表内容を修正する。 ・修正した内容をもとに日本文化を紹介する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手や目的を意識した内容になっているか確認できるようにする。 ・語句や表現、音声などについて、個別に支援を行う。 ・1回目と比べて、よりよくなった点を全体で共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ニュージーランドの小学生に日本のことをよりよく知ってもらうために、日本の行事や食べ物など、紹介したい日本文化について、これまでに習った語句や表現を用いて話している。（行動観察・振り返りシート点検） ◎ニュージーランドの小学生に日本のことをよりよく知ってもらうために、日本の行事や食べ物など、紹介したい日本文化について話そうとしている。（行動観察・振り返りシート点検） 	

5分	・ Reflection 本時の活動を振り返る。	・ 振り返りの観点を示し、児童の感想を聞く。	・ 児童の活動の良かった点を伝える。	・ 児童の活動の良かった点を賞賛することで、今後の活動への意欲を高めるようにする。
1分	・ 挨拶をする。	・ 次時の活動を知らせ、全体に挨拶をする。		

(3) 評価及び指導の例

「話すこと [発表]」の「思考・判断・表現」

「十分満足できる」と判断される状況(a)	ニュージーランドの小学生に日本のことをよりよく知ってもらうために伝えるという目的意識をもち、自分の考えや気持ちを含めて話すことができている。
「おおむね満足できる」状況(b)を実現するための具体的な指導	目的意識をもつことができるよう、何のためにするのか目的を確認したり、友達やALTからのアドバイスを適切に取り入れて修正することができるよう声をかけたりするなど、自分の考えや気持ちを含めて話すことができるよう支援する。
「努力を要する」状況(c)と判断した児童への事後指導	例文を示すことで、表現を選択することができるよう個別支援を行い、「おおむね満足できる」状況(b)を達成できるようにする。

「話すこと [発表]」の「主体的に学習に取り組む態度」

「十分満足できる」と判断される状況(a)	ニュージーランドの小学生に日本のことをよりよく知ってもらうために伝えるという目的意識をもち、自分の考えや気持ちを含めて進んで話そうとしている。
「おおむね満足できる」状況(b)を実現するための具体的な指導	目的を意識することができるよう声かけをする、自分が伝えやすい表現を提示する、友達と一緒に日本文化を伝える場を設定するなど、前向きに取り組むことができるよう支援する。
「努力を要する」状況(c)と判断した児童への事後指導	友達と一緒に伝えたりワークシートを示しながら表現したりすることができるよう個別支援を行い、「おおむね満足できる」状況(b)を達成できるようにする。